優れた中小企業創出事業（経営改善・事業計画立案講座開催）業務委託 審査基準書

１　審査基準の位置付け

　優れた中小企業創出事業（経営改善・事業計画立案講座開催）業務委託の受託候補者を選定する際の審査での採点基準について記述したもの。提案された企画提案書を審査し、最も優れた提案者を選定する。

　なお、審査にあたり、各選定委員の評価点の平均点数が60点未満（100点満点）である場合は、受託候補者としては選定しないものとする。

２　候補者の決定

（１）一次審査

　選定委員は企画提案書及び見積書に基づき、その事業者の提案を個別の審査項目ごとに採点し、全ての審査項目の採点を合計する。その合計点数を各事業者の一次審査における評価とし、選定委員ごとに合計点数の高い事業者の上位３つの事業者を選出する。

（２）二次審査

　選定委員は、一次審査の評価に基づいて各選考委員ごとに選出された上位３つの事業者に対して、合計点数の高い事業者から順番に、１位５点、２位３点、３位１点をそれぞれ付し、その点数を各事業の二次審査における評価とする。

（３）その他

　二次審査の評価において、事業者が得た合計点数が同点だった場合は、選定委員の多数決により、受託候補者を決定する。

３　審査区分と配点基準

　各評価項目を５段階で評価することとし、一部では傾斜配点を行う。

|  |  |
| --- | --- |
| 標準より優れた提案 ／ 非常に期待できる | ５ |
| 標準よりやや優れた提案 ／ 期待できる | ４ |
| 標準 ／ 委託先として望ましい水準 | ３ |
| 標準よりやや劣った提案 ／ やや劣る | ２ |
| 標準より劣る提案 ／ 要求水準を明らかに満たしていない | １ |

４　評価基準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 評価項目 | 評価ポイント | 配点 |
| 実施体制  （２５点） | 全工程における運営管理の体制が明確に示され、その実効性が高いと判断できるか。連絡体制や課題発生時の対応フローが適切に設計され、リスク対応含め履行期間内にすべて事業が完了できるスケジュールとなっているか。 | ５点 |
| 業務実績（特に本事業に類似する中小企業支援実績）について、具体的な数値等の定量的評価を含む成果が明確に示されており、その成功要因が本事業においても再現可能であると見込めるか。 | ２０点 |
| 企画構成  ：講演会  （３０点） | 本事業の目的を十分に理解した上で、参加者の興味関心や信頼を得られる十分な専門性、実績、および発信力をもつ講師がアサインされているか。 | １０点 |
| 本事業の目的に合致し、幅広い層の参加者にとって魅力的かつ示唆に富む講演内容が提案されているか。 | １０点 |
| 募集にかかる業務および講演会当日の運営業務にかかる体制が円滑であり、参加者満足度80%以上という成果目標達成に貢献すると期待できるか。 | １０点 |
| 企画構成  ：セミナー  （４０点） | 事業計画立案に必要な知識の習得を含め、体系的かつ実践的なカリキュラムが提案されており、最終目標（受講者全員が事業計画書を策定できる）に繋がる実効性が高い内容になっていると判断できるか。 | １０点 |
| 事業計画策定支援の実績と専門的知見を有し、受講者に対して実践的な指導や助言を効果的に行える講師および指導体制が提案されているか。 | １０点 |
| 受講者のフォローアップとして、相談窓口の設置、必要な教材の作成・活用など、受講者のニーズに合わせたきめ細やかな策定支援の環境が具体的に提示されているか。 | １０点 |
| オンライン併用を含めた開催方法が、最終回の対面開催を含めて、事業計画の完成度向上に寄与するよう具体的かつ実効性のある開催方法となっているか。 | １０点 |
| その他  （５点） | 見積書の内容が提案内容と整合性がとれており、経費積算が明解で無駄がなく、適正なものとなっているか。 | ５点 |
|  | 合計（選定委員一人あたり） | １００点 |